

神津島の火山活動解説資料（令和2年5月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図2）
前浜南東監視カメラ（天上山の南西約3km）による観測では、天上山山頂部に噴気は認められません。
- ・地震や微動の発生状況（図3 - ）
神津島付近を震源とする火山性地震の発生はなく¹⁾、地震活動は低調に経過しています。火山性微動は観測されていません。
- ・地殻変動の状況（図1、図3 - ~ ）
GNSS連続観測による観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

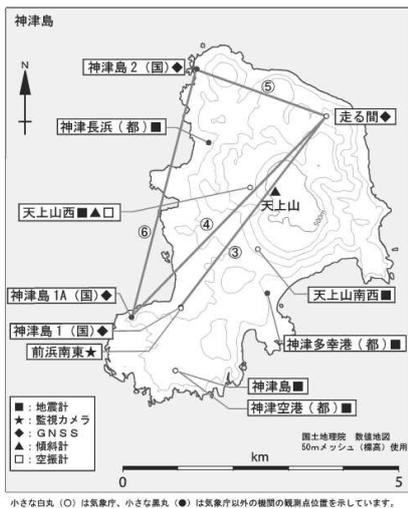


図1 神津島 観測点配置図

GNSS 基線 ~ は図3の ~ に対応しています。

神津島1から神津島1Aに2014年9月19日移設。



図2 神津島 天上山山頂部の状況

（5月14日、前浜南東監視カメラによる）

1) 2020年4月18日以降の地震について、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以前と比較して微小な地震での震源決定数の変化（増減）が見られます。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

次回の火山活動解説資料（令和2年6月分）は令和2年7月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、東京都及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警戒等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuj.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。

【計数基準の変遷】
 A型地震：2010年10月1日（観測開始）～ 天上山西から半径5km、深さ15km以内
 2020年4月18日以降の地震について、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、
 それ以前と比較して微小な地震での震源決定数の変化（増減）が見られます。
 BH型地震：2010年8月2日～2013年9月30日 天上山西振幅0.8 μ m/s以上
 2013年10月1日～ 天上山西振幅4.0 μ m/s以上

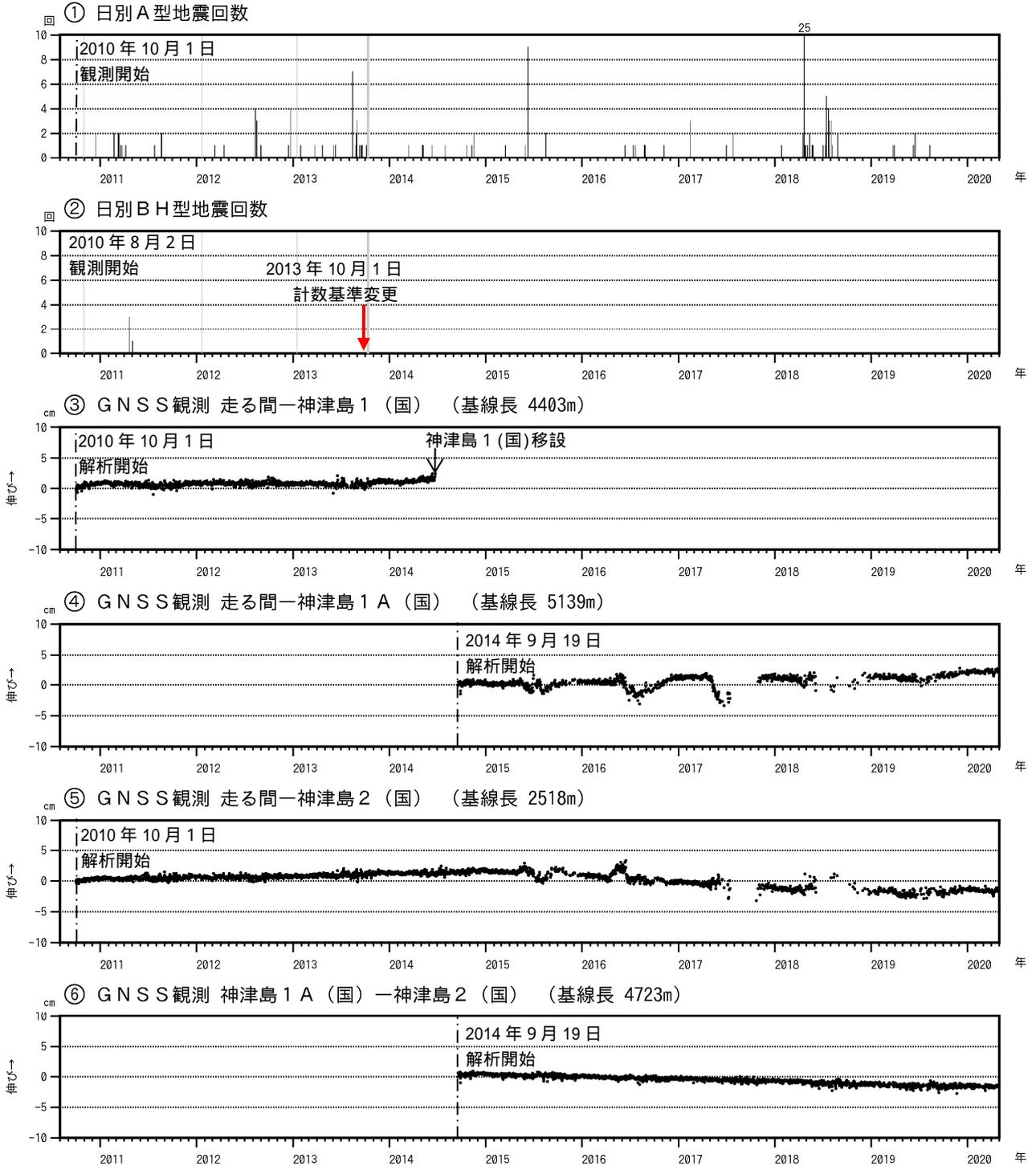


図3 神津島 火山活動経過図(2010年8月2日～2020年5月31日)

：図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。

～：図1のGNSS基線～に対応しています。空白部分は欠測を示します。

：の部分には、走る間観測点付近の植生による影響です。

2014年9月19日に、神津島1を神津島1Aに移設しました。

(国)：国土地理院